

タイトル：「中国雲南省元陽におけるバックパッカーの観光空間の変容」

発表者： 板垣武尊（立教大学観光学研究科）

コメント：

本研究では、「バックパッカーの観光空間の変容」という新鮮なテーマを取り上げ、これまでに、バックパッカーの行動と観光空間がどのように変わってきたのかについて、世界遺産登録に伴うアクセスの向上、並びにバックパッカーの質的变化という 2 つの側面から論理的に分析した。課題設定の独創性、及び新規性があり、中国雲南省元陽におけるバックパッカーの観光空間の変容という研究目的が明確である。上述の研究目的を明らかにするためには、著者は 2009 年 8 月から 2016 年 1 月に渡って、現地調査を 5 回実施した。そのため、本研究の研究結果が客観性と信頼性があり、観光学領域において、貢献性のある研究論文であると思われる。今後、本研究で明確にした点に基づき、バックパッカーの行動、及び観光空間の変容について、更なる議論をしていただきたい。